

# 令和7年 第4回定例会（3月）

## 一 般 質 問

質問 順位	議席 番号	質 問 者	質問 順位	議席 番号	質 問 者
1	8	岸 野 雅 人	4	3	南 雲 あや子
2	6	並 木 利 彦	5	5	南 雲 好 幸
3	1	飯 田 正 義	6	4	渡 辺 千 恵



質問事項	質問要旨	答弁 要 求
<p>1. 町内会でのトラブル防止のために</p>	<p>町内会では、「ゴミの出し方」「雪のかたづけ方」、あるいは「町内会費」、最低限の役割分担など、他にも生活上の問題があらうかと思う。日本語が通じれば良いが、昨今そうでない場面が多々ある。</p> <p>訪問するにも昼は互いに仕事があったり、夜の訪問もタイミングを計らねばならない。中々会えない場合、「言葉が通じるか」「いつ会えるか」など、まずは電話連絡が必要となる。</p> <p>せめて、転入者（特に外国人）に、「町内会長から要請があった場合のみ、連絡先電話番号を伝えて良いかどうか」を、訊ねてもらいたい。</p> <p>総合戦略 基本目標1-1の概要も「推進会議」の答申を受けて変更された。町民課の窓口業務も大変だろうとは思いますが、転入された外国人の生活の安心のため、ぜひ検討導入頂きたい。</p>	<p>町長</p>
<p>2. 今年の豪雪対応はどうだったか。見直す考えはないか</p>	<p>この冬、当町よりも降雪の少ない自治体である阿賀町に、災害救助法が適用された。お陰様で幹線主要道路は保たれましたが、個々の家の前や屋根雪への対応は自分でやらねばならない。湯沢町内各所で、体力気力を削ぎ切られてしまいそうな方々、「こりゃ危ない」と見える場面など、多く見うけられた。</p> <p>また、使命感あふれる共助の姿には、心温まり頭の下がる思いです。行政の福祉介護や地域整備、社会福祉協議会の窓口、それらの対応状況は如何だったか。</p> <p>ちなみに助成の案内は、12月広報に案内が掲載されていたが、1月末広報にはなかったようだ。今年のような場合、適用される範囲や助成額が十分とは言えない。</p> <p>町民の生命財産に関わる問題、降雪量の基準を設け、助ける仕組みと内容を見直す考えはないか。</p>	<p>町長</p>

<p>3. 家庭の教育力向上、認識・取り組み・成果は</p>	<p>教育大綱中の「指針 ① こどもまんなか 子育て支援の充実」の二つ目に「○ こども園・学校で保護者支援を行い、家庭の教育力向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの基本的生活習慣の状態を把握し、こども園や学校で保護者支援を行うことにより、家庭の教育力向上を図る。」</li> </ul> <p>とある。大変難しく、永遠の課題とも言える。実践の現場は、こども園と小学校・中学校となるが、教育長としては現状をどう捉え、具体的にどのような取組みをしているのか。また、その成果についてはどう感じているか。</p>	<p>教育長</p>
--------------------------------	--	------------

質問事項	質問要旨	答弁 要 求
1. 中子町有地の売却について	<p>① 中子町有地の売却に係る公募型プロポーザル実施要項の『9.参加資格 (1)参加意思表明書提出時点において日本国内で法人登録をしている法人であること。』とある。これは何を意図して設定しているのか、町長にお聞きします。</p> <p>② 株式会社サクセスリゾート越後湯沢ホテルの直近の財務状況は、資産が7,106円 損失10万4,999円。自社では、到底買える財務状況ではない。 外資である旺旺グループの関連会社であるため、そこから資金調達して買うとのこと。日本の会社ではない。①で意図した事とは、違うのではないか。完全なるトンネル会社である。このようなことは、地域自治体の契約としておかしいのではないかと町長にお聞きします。</p> <p>③ 株式会社サクセスリゾート越後湯沢ホテルが、中子町有地の買い具体的にどのようなことをするのか、図面を見ながら説明して頂いたが、その図面は回収された。 プロポーザルで作成していたであろう図面ぐらいは、議員に配布しても良かったのではないかと。 将来的な買ってからの計画で、双方の取り決め事項の確認としての収入印紙に実印をついた証書がない。こんな仮契約はありえないが、町長にお聞きします。</p> <p>④ 実際の資金は、外資である旺旺グループから調達し計画を実行すること。そうであるならば、せめて中子町内会だけは説明会をしてからでも遅くなかったのではないかと、町長にお聞きします。</p>	町 長
2. 湯沢町地域交通について	<p>南越後観光バス株式会社の土樽線が廃止、旭原線も日曜日の運行が無くなった。冬季の夜間タクシーは、皆無と言っていいほどタクシーがつかまらない。行政も一生懸命対応しているとは思いますが、観光客にストレスを与えるよう</p>	町 長

<p>3. 公共施設の新規政策的施設建設について</p>	<p>なことは、「観光立町・湯沢町」とってはあってはならない事。  湯沢町地域交通は観光客に対してどのような対応をしていくのか、町長にお聞きします。</p> <p>令和6年度12月に、収入がなくて宿泊税を導入するかを検討しているのかかわらず、子育て教育部からスケートボード場建設の提案があった。資金があれば、スケートボード場は、子供達のため建設してあげたいのだが、現状を考えて頂きたい。どこにそんな資金があるのか。  生活福祉常任委員会での、湯沢町社会福祉協議会と意見交換のなかで、老人介護福祉等に費用がかかり大変だとのこと。  湯沢町地域交通も、いろいろの地域交通対応に費用がかかる。子育て教育部も、部活の地域移行に費用がかかる。  町全体でやらなければいけない事があるのに、なぜスケートボード場建設の提案があったのか。公共施設の新規政策的施設建設については、何らかのルールや要項が必要と思われるが、町長にお聞きします。</p>	<p>町 長</p>
<p>4. 部活の地域移行について</p>	<p>今年度から部活の地域移行に向かって、いろいろな検討が始まっている。地域移行するには、行政・議会・教育委員会・ユースポ・スポーツ協会が、同じベクトルを持って進まなければならないと思っています。  第一に決めることは、子供達が少なくなっている中で種目を増やすと部活が成り立たなくなるので、ある程度絞る事だと思います。少ない部活は、南魚沼地域の中で育てていくことになると思いますが、教育長は、どのような考えで進めていくのかお聞きします。</p>	<p>教育長</p>

質問事項	質問要旨	答弁 要 求
1. 中子町有地売却の否決について	<p>2月臨時議会で否決となった中子町有地売却について、町としてどのようにその理由を分析しているのか伺います。また、否決を受けて今後どのような対応を検討しているのか、今回の否決を踏まえ、売却以外も含めた活用策（賃貸、公共施設への転用など）を再検討するお考えはあるか、町長のお考えを伺います。</p>	町 長
2. 観光産業の経済効果の見える化と訪日観光客向けマナー啓発について	<p>観光産業が、地域経済に与える影響はとて大きいです。それらの影響を事業者や町民にわかりやすく伝えるための「リーフレット」は湯沢DMOが作成すると答弁がありました。現在配布はされていません。</p> <p>また、訪日観光客の増加に伴い、地域住民との共存を図るためにもマナー啓発を行うことも直近の課題ではないかと考えます。マナー啓発はホームページ等への掲載を検討する、と答弁がありました。リーフレットの配布とマナー啓発について、進捗と検討の状況を町長に伺います。</p>	町 長
3. 日本版ライドシェアの導入進捗と課題について	<p>12月23日の地域公共交通活性化協議会において、令和7年2月から日本版ライドシェアの導入を予定しているとありましたが、現時点で導入が進んでいません。</p> <p>進捗状況や遅延の原因、町としての今後の具体的な対応策、課題解決に向けた具体的なスケジュールについて伺います。</p>	町 長
4. 自治体DXについて	<p>町役場業務のDX推進として、業務内容の把握や計画策定などに取り組まれており、アナログからデジタルへ移行するタイミングがいちばん職員の方々にとって負担が大きくなることと考えます。</p>	町 長

	<p>他自治体では「公務員専用A Iエージェント『マサルくん』」というA Iツールがあり、全国500の自治体職員が登録され、毎月10万回以上利用されている日本最大の行政A Iです。</p> <p>このA Iツールは、他自治体の補助金採択書類や各省庁が発行している様々な〇〇白書を元に、業務中の疑問点に回答してくれるだけでなく、補助金申請に必要な企画書作成をこちらの要望に合わせて、文章を作成してくれます。</p> <p>国や県への補助金申請の書類作成には多大な労力と時間が掛かっているのではないかと考えましたが、導入も含めて町長のお考えを伺います。</p>	
<p>5. デジタル田園都市構想第2世代交付金活用事業について</p>	<p>新たに創設された第2世代交付金では、ソフト事業やハード事業、拠点整備事業などが一本化され、申請様式も簡略化されました。湯沢町としてどのような事業計画を立案し、申請する予定なのか具体的な内容を伺います。</p> <p>また、デジタル田園都市構想交付金は地方創生に向けた重要な財源として位置づけられていますが、湯沢町では過去にどのような取り組みを行い、どのような成果を上げたのでしょうか。また、今後この交付金を活用し、解決したい地域課題について「交通」「医療」「教育」など優先度の高い順で町長のお考えを伺います。</p>	<p>町 長</p>
<p>6. 町政の継続性について</p>	<p>将来の町政運営の継続性確保は重要課題と考えます。町長が継続されるかは、一旦置きまして、町政運営に必要な知識や経験の継承や町長業務の可視化、町政運営を通じて培われた経験や人脈の継承方法（業務マニュアル作成、人材育成プログラム導入など）をどのように行うのかについてのお考えを伺います</p>	<p>町 長</p>

質問事項	質問要旨	答 弁 要 求
<p>1. 買い物弱者(難民)を出さないための対策を</p>	<p>現在、湯沢町にはスーパーと呼ばれる店は数件しかありません。かなり前ですが、二居・中里からAコープが撤退。その後、中里の個人商店も閉店しました。大字湯沢には、私が記憶しているだけで今営業しているほかに、3軒の食料品・日用品を扱う店がありました。</p> <p>最近では、「はりまや」さんで買い物をし、歩いて帰る人をよく見かけるようになりました。男性の方も多くなりました。車の運転免許証を返納したのだろうか、と考えてしまいます。どこの地域から買い物に来ているか分かりませんが、夏は生ものを買った時、歩いているうちにいたまないか心配です。</p> <p>また、私の知っている87歳の一人暮らしの女性は買い物に行けなくなるので、免許証は返納できないといっています。生活協同組合による宅配を勧めてはいるのですが、目で見て買いたいと頑張っています。また、車の運転免許をもたない4人の方に生協を勧め、2人の方から利用してもらいました。</p> <p>しかし、一週間に一度の宅配なのでそれでは足りず、私もそうですが買い物にも行かなければなりません。こうしたことが、高齢ドライバーの方が自身の運転に不安を感じながらも、免許証を返納できない理由の一つになっているのではないのでしょうか。こうした状況を踏まえ、お聞きします。</p> <p>対策としては、「宅配」「移動販売」「買い物支援」「買い物バス」等、様々ありますが、町は高齢者が買い物に不自由し、安心して地域に住み続けることがいかに困難か、実態把握をするなどして、打開策を考えるべきだと思いますがいかがでしょうか。</p>	<p>町 長</p>

質問事項	質問要旨	答弁 要 求
<p>1. 事前協議について</p>	<p>本年1月30日の臨時議会に議案提出された町有地売却につき、その日採決予定であった。しかし、議員としては、1時間くらいの内容説明での即日採決は、この重要な財産処分に対し賛否を表明する事は大変重い責任があるため、特別委員会が設置され付託された。2回の特別委員会を経て2月13日の臨時議会でこの案は否決となった。このような重要事案については、今後は事前にもっと議会との意見交換を行えないものか。町長の見解を伺う。</p>	<p>町長</p>
<p>2. 今後のプロポーザル実施における成立基準について</p>	<p>この度の中子町有地売却における公募型プロポーザルの実施要項では、「参加意思表明者が1事業者であっても、本プロポーザルは実施します。」とある。</p> <p>本来プロポーザル方式は、日本語では「企画競争入札」と呼ばれ、単なる価格競争に基づく選定ではなく、発注者が求める業務やサービスに対して、複数の事業者から提案を募るものであり、事業の実施方針・事業の実施体制・過去の事業実績・地域に対する貢献度など、その内容を総合的に評価して最適な事業者を選定する手法のはず。</p> <p>今後は、応募が1事業者では成立しない実施要項にすべきと思うが、町長の見解を伺う。</p>	<p>町長</p>

質問事項	質問要旨	答弁 要 求
<p>1. 外国人移住者、外国人労働者受け入れの町としての取り組みを</p>	<p>湯沢町は、「外国人の移住」また「商売をやられている方」、また人手不足のため外国人の方も多く働いていらっしゃいます。</p> <p>様々な課題がある中、多文化共生とは「国籍や文化の異なる人々が互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら地域社会の構成員としてともに生きていくこと」と総務省の定義にもなっています。</p> <p>現在、日本国内で暮らす外国人は年々増加し、日本の総人口の約2%と言われていています。そして、湯沢町も観光の町であり、インバウンドのお客様が多く訪れています。籍や文化、言語の異なる人たちがともに地域で暮らすためには、外国人居住者に対応する条例などを整備する必要があるのではないかと。また、外国人労働者が湯沢町で働きやすい環境づくりの取り組みも必要ではないでしょうか。</p> <p>① 外国籍の方が国籍や文化を問わず、私たちと共存しながら暮らしやすい地域を、またトラブルなどが、できるだけでないような町づくりのためには何が出来るか。町として考え取り組んでいくことはあるか。</p> <p>② 外国人労働者の受け入れについて、町としては今後どのように関わっていく予定か。また、取り組みなどは考えているのか。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 自主防災組織の強化を</p>	<p>今年は12月から久々の大雪となり、湯沢町の積雪量も3メートル近くなりました。降り続く雪に家から出られない、屋根の雪が心配だと不安に感じられた高齢者の方も多かったと思います。湯沢町も高齢者の一人暮らしなど年々増えています。</p> <p>先日ある地域の方から、一人暮らしの方々がこの大雪で不安がられている、全く外に出れない。どうにかならないのかとの連絡をいただきました。私もすぐにはいけないので、ま</p>	<p>町 長</p>

ずその地区の町内会長さんに連絡をし、確認していただきました。

普段から一人暮らしの方や高齢者のみの世帯などは、社会福祉協議会なども訪問したり、様子を確認していただいています。しかし、大雪や災害時などはすぐに動けない、確認できないこともあります。防止策として、自主防災組織の強化が必要なのではないのでしょうか。

- ① 地震・台風・水害・雪害など、自然災害はいつくるかわからない。まずは、町内ごとの組織強化を図るべきではないか。
- ② 町内ごとに「生存確認」「救助」担当などを作り、繋がれる組織として町が先導すべきでは。
- ③ 防災訓練も町内ごとの参加を考えては。また、1年に一回地域ごとの防災訓練をしたらどうか。